

始良市校区まちづくり事業

協議会名：竜門校区コミュニティ協議会
事業名：“防災竜門”立上事業

参加人数	約 120 名(役員含) 始良市危機管理課 始良市消防署
------	------------------------------------

【事業風景】 地域安全部会開催(防災竜門の進め方)

【事業の内容】

自主防災の組織づくりをし、地域住民の共助の精神に基づき自主的な防災活動を行い、風水土砂災害(以下、『風水害』)、その他の災害による災害の防止、軽減を図る事を目的とする。

	月日	実施内容
事業実施スケジュール	5月19日	第一回地域安全部会 防災竜門役員選出・年間計画
	6月9日	第二回地域安全部会 防災支援員の選出について
	7月8日	第一回防災支援員会議
	10月28日	第二回防災支援員会議
	11月25日	小山田の里防災訓練参加
	1月20日	図上訓練(陶夢ランド)
	2月10日	防災訓練(竜門小学校)

☆ 5月19日(土)

第一回地域安全部会を開催。防災竜門の役員及び、平成30年度の活動計画を作成。並行して、要避難者の把握に努める。

☆ 6月9日(土)

第二回地域安全部会の中で自主防災組織の素案を確認し、防災支援員の自選・他薦により自治会20戸に1名の名簿を作成。

☆ 7月8日(日)

第一回防災支援員会議を開催。

☆ 10月28日(土)第二回防災支援員会議にて、図上訓練研修会及び防災訓練の実施計画を検討。





☆ 11月25日(日)

“小山田の里”の防災訓練に参加。
始良市消防署署員の指導のもと、加治木
東部消防団小山田部の団員も参加。
避難訓練後、室内で心臓マッサージと人
工呼吸の訓練・AEDの使い方の講習に参
加しました。

☆ 1月20日(日) 図上訓練

日本防災士会鹿児島県支部長、防災アドバイザーの吉水康夫氏を講師に陶夢ランドで“図上訓練”に参加。

小山田<西元・西浦・東浦・東元>4地区に分かれて、講師の指示のもと地図上に、メイン道路・生活道路・河川等を記入し、風水土砂災害時の危険場所、消火栓等を記して行きます。



☆ 1月20日(日) 図上訓練(発表)

各班毎に記載例に基づき、発表をして貰い、各地区の問題点・課題・改善点などを発表してもらいました。

自治会によっては、自治会単位で図上訓練を実施するとの声も上がっていました。

☆ 2月10日(日)防災訓練を実施

⇒ ・東木協議会長

最近、大規模災害(地震・集中豪雨・土砂災害)が引き続いて発生しています。始良市でも集中豪雨による土砂災害も発生しており、今後とも大雨・台風・桜島、霧島の噴火等注意して行かなければなりません。

避難場所として、陶夢ランド・竜門小体育館が避難場所となっていますが、避難のおり何が必要かを考える為に防災訓練を実施しました。



⇐ ・始良市危機管理課

初めての竜門校区の防災訓練との事ですが、

100名以上の参加者が有り地域の方々の防災についての関心が高いことに驚いています。

近年、日本各地で地震・集中豪雨・土砂災害が発生しており、鹿児島でもいつ発生するか分かりません。

常に、災害に対して備えることが必要です。

⇒ ・始良市消防署

災害はいつ起こるか分かりません。

訓練では準備しすぎると本当に必要な時、目に見えなくなります。

訓練は自然体で実施し、反省点を見つけて災害時に役立てるようにすると良いと思います。



⇐ ・加治木東部消防団小山田部 … 協副団長

ご自身で準備されている緊急時の避難持ち出し品を参考に、何が必要かを説明していただきました。

今回も避難持ち出しグッズを持って多数参加された方もいらっしゃいましたが、個々に持ち出し品は変わります。

持ち出し品は、期間を決めて再チェックを考えてみたらどうでしょうか。

《炊き出し》



☆ (旧)小山田公民館を通じ初めての炊き出し訓練で有り、有事の際、初期避難行動で《炊き出し》が必要かとの意見も有ったが、避難持ち出しの準備を考える点で実施。

尚、60名分の予定であったが、スタッフを含め約120名となり炊き出しの準備をして頂いた女性部の皆さんとお手伝い頂いた方、有難う御座いました。…とってもいい経験になったとの事です。

☆ 防災ベストとキャップ



- ・ 防災ベストは避難訓練には間に合わなかったが、キャップには“防災竜門”のロゴを入れることが出来ました。ライトカラーの黄色でよく目立ちます。…使うことが無いように、願います。

☆ 事業を振り返って・・・

平成29年3月に作成された“まちづくりプラン”の地域安全部の目指す姿と基本方針です。

*** 自助、共助、公助で地区民が安心して生活できる地域づくり。**

- ・ 自主防災組織を結成し、お互いに助け合う環境を作ります。
- ・ 防災訓練の実施等により、さらに防災への意識を高めます。
- ・ 竜門校区コミュニティ協議会、各自治会、小学校、各種団体、行政などと連携して情報の共有化を図るなど、災害等に対し行動できる地域を目指します。

“まちづくりプラン”を基に、平成30年度の協議会で自主防災組織“防災竜門”の設立が決議されました。平成は、地震・津波・土砂災害・水害等、自然災害が多く発生しています。今後も一回だけの訓練ではなく引き続き実施し、桜島・新燃岳・硫黄山の火山活動も活発で降灰に関しても学んで行かなければなりません。継続して目標を持って、訓練を実施して行きます。